

高知憲法速報

№ 138 2007.12. 14
 発行：高知憲法会議事務局
 088-872-3406
 編集人 事務局 徳弘嘉孝

12月8日「平和のつどい」に250人

1941年にアメリカイギリスを相手にした太平洋戦争に突入して66周年となる12月8日、高知市のRKCホールで、「平和のつどい」が開かれ、250人が参加しました。

音楽評論家で作詞家の湯川れい子さんが「音楽から見えてくる平和」と題して講演しました。湯川さんは兄を第2次大戦で失った経験、子どもの感性を育てることの大切さ、音楽の持つ力などに触れながら、私たちが日ごろから平和の大切さを語る重要性について述べました。

また佐川の小学生が、戦場の兵士の物語「むらさき花だいこん」を集団で朗読し、参加者に感銘を与えました。

平和を守る母親行動 8日県下5箇所で行った

12月8日朝、高知県母親運動連絡会は県下5箇所のJR駅頭で、平和を守る母親行動として、臨時召集令状(赤紙)を印刷したビラを配り、平和の大切さを訴えました。今年は高知市の高知駅前で21人、旭駅前で6人、朝倉駅前で7人、南国市の後免駅前で6人、佐川町の佐川駅前で3人合計43人が参加して1150枚のビラを配りました。また、このビラを使った平和教育が小中高校13校で取り組まれ、1170枚が活用されました。

12月13日「アウシュビッツを学ぶ」学習会

高知県平和委員会青年協議会「ぼっぼ」と高知県労働者学習協議会が主催して「ホロコースト」をテーマにした学習会を12月13日開きました。講師は県平和委員会の徳弘理事長が担当し、今年のピースツアーで撮影したアウシュビッツやベルリンの写真など100点を見ながら、ユダヤ人600万人、シントロマ(ジプシー)25万人など1100万人を殺害したナチスの罪悪について詳しく説明しました。戦後の取り組みに関して、戦争犯罪人の追及、被害者への賠償、抵抗運動の顕彰、次の世代への教育などドイツの到達点について説明し、日本との違いについても考えました。この日は日本軍が南京で大虐殺をした1937年12月13日から70周年の日でもあり、戦争犯罪を考える有意義な会となりました。

署名集約状況 12/14現在

会員団体名	署名目標	到達
県労連	20,000	3,976
県教組		1,133
高教組	10,000	221
私学教組		30
自治労連		1,778
県国公		2,145
福祉保育労	3,000	70
平和委員会	5,000	702
民青同盟		
新婦人	20,000	16,849
商工団体連合会	15,000	16,494
自由法曹団		
地域人権連		
高退協		100
治維同盟		
梅原憲作		
共産党県委員会	40,000	2,454
医労連		77
民医連		12,652
学習協		
山下道子法律事務所		
退教協		750
退婦教		3,340
農民組合		
その他		732
街頭署名		4,309
小計		67,812
母連		11,449
うち重複集約(報告)分		9,269
有権者過半数目標/到達合計	331,000	69,992
こうち九条の会街頭署名		5,875

街頭宣伝署名について

11月19日憲法会議は5人で60筆でした。11月29日憲法会議は4人で53筆でした。12月1日九条の会は5人で95筆でした。だんだん寒くなってきましたが反応は悪くありません。頑張ってください。参加にご協力ください。

当面の予定 場所；帯屋町グリーンロード

12月15日(土)九条の会1:30~2:30

12月19日(水)憲法会議5:15~6:15

1月5日(土)九条の会1:30~2:30

1月19日(土)憲法会議、九条の会合同1:30~

憲法会議12月29日と1月9日は他の行事との関係で中止とします

